

# 競技注意事項

## ※ 4. アスリートビブスについて (1)の内容を一部変更しました(3/11)

### <コロナ感染症対策>

- ①各大学で参加するチームスタッフ全員・関係者の健康管理を大会開催1週間前から大会終了後2週間まで行う。具体的には体温チェックと体調を確認する(別紙による)。
- ②大会当日、スタンド入口または正面玄関前の検温所にて検温を行い、リストバンドを受け取る。また、体調管理チェックシートの提出は不要とするが、検温時にGoogleフォームの回答画面を補助員に提示すること。
- ③万が一、健康観察期間にコロナ感染症が発症した場合には、東北学生陸上競技連盟に報告し、該当者の体調管理チェックシートの提出、大会当日の行動調査を行い、感染拡大を防止する。連盟は関係行政機関の要望に応じて個人情報を含む健康管理関係書類を提出することがあるので、各大学においては大会終了後も約1ヶ月を目処に保管し、要請に応じて速やかに提出できるようにしておくこと。
- ④スタンド(メイン・サイド・バック)での大声を出しての応援、および集団応援は認めない。
- ⑤チームスタッフが競技者にアドバイスをする際は、マスク着用を義務づける。
- ⑥コロナ感染症対策により、競技方法が通常と異なることがある。競技注意事項等の確認を必ず行うこと。
- ⑦今大会は、有観客開催とする。ただし入場時の検温とその際に配布するリストバンドの着用、およびマスクの着用を義務付ける。

### 1、競技規則について

本大会は、2023年度(公財)日本陸上競技連盟競技規則ならびに本大会申し合わせ事項により実施する。

### 2、ウォーミングアップについて

- (1)大会当日の練習については、7:30~8:50まで競技場内での練習を認める。また、雨天走路及びウォームアップ走路を各自使用すること。ただし、雨天走路はストレッチ・ドリル程度の使用とし、スパイクを履いての走行は禁止とする。練習場は混み合う可能性があるため、練習の際は怪我・事故等のない様に細心の注意を払うこと。主催者は一切責任を負わない。
- (2)投てき練習、跳躍練習は競技開始前に各ピットで競技役員の指示により行う。
- (3)芝生を使った練習は禁止する。
- (4)競技中、練習場所確保のため競技場のバックストレートを開放する。競技の妨げにならないよう、開放中であっても使用については審判の指示に従うこと。また、開放時間の詳細は追って連絡する。

### 3、招集について

- (1)トラック種目は第1ゲート(100mスタート)側倉庫に設け、フィールド種目は現地招集とする。
- (2)招集開始時刻および招集完了時刻は、プログラムの競技日程に記載する。

- (3) 2種目以上を同時刻に兼ねて出場する場合には、他種目同時出場届（招集所に用意）に記入して招集所（競技者係主任）に提出すること。
- (4) リレー競技はオーダーの変更の有無にかかわらず、その都度オーダー用紙（招集所に用意）に1チームにつき1部記入して、**招集完了時刻1時間前まで**に招集所（競技者係主任）に提出すること（リレー競走については170条を参照のこと。）。  
リレー競技の申込のときのチーム編成は原則として6人だが、どのラウンドにおいてもその競技会のリレーまたは他の種目に申し込んでいる競技者であれば出場することができる。但し、どのラウンドにおいても出場するメンバーのうち少なくとも2人はリレーに申し込んだ競技者でなければならない。最初のラウンドに出場した競技者は、その後のラウンドを通して、2人以内に限り、他の競技者と交代することができる。（第170条10の参照のこと。）
- (5) 招集完了時刻に遅れたものは、失格として処理する（当該種目のみ）ので十分注意すること。
- (6) シューズ検定については、審判長および競技役員が疑義を抱いた場合、検査を実施する。

#### 4、アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは**各自で準備**すること。大学生は2023年度に本連盟が配布したビブスを使用し、一般および高校生はエントリーの際に入力した登録陸協ナンバーのビブスを使用すること。なお、3000m以上の競技については、アスリートビブスにて招集を受け、招集係より配布されたレーンナンバーの通しビブスを使用すること。通しビブスは招集完了時刻の1時間前までに招集所に受け取りに来ること。
- (2) 跳躍種目については、胸、背の一方だけでよい。
- (3) トラック競技に出場する競技者は、招集所にて配布する腰ナンバーカードをパンツの右横やや後方に取り付けること。

#### 5、フィールド競技について

- (1) フィールド競技における持ち時間は**各種目1分**とする。（第180条17を参照のこと）
- (2) 走幅跳及び三段跳は、Aピット・Bピットの二つのピットで行う。また、三段跳は踏切版の位置を変えて行う場合がある。  
三段跳において、Aピットは踏切板から砂場の近い方の端までの距離を男子は11m、Bピットは10m、女子は8mとり、競技を行う。ただし、競技者レベルに合わせて審判長が判断し、男女ともに砂場までの距離を変更する場合がある。
- (3) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、下記の通りとする。

種目		練習	1	2	3	4	5	6
走高跳	男	※	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60
	女	※	1m15	1m20	1m25	1m30	1m35	1m40
棒高跳	男	※	3m00	3m20	3m40	3m60	3m80	4m00
	女	※	1m80	2m00	2m20	2m40	2m60	2m80

※記載の高さ以降は、走高跳はそのまま5cmずつ、棒高跳は10cmずつ上げることとする。

※男女走高跳及び棒高跳の記録は幅があるため、練習並びにバーのあげ方は審判との調整で決定する。

- (4) 男子砲丸投・円盤投・ハンマー投に関しては、一般・大学及び高校で重量が異なるので、重量別に競技を行う。
- (5) トップエイトを取らずに、3回試技で行う。
- (6) 投擲種目は、公式練習は設けないが、競技開始45分前からフリー練習の時間を設けることとする。

## 6、競技用器具について

- (1) 競技用器具は、競技場備え付けのものを使用し、個人の器具を持ち込んではいけません。ただし、棒高跳用ポールに限り、個人のものを使用することができます。
- (2) 競技場は全天候舗装であるので、スパイクのピンは9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投では12mm以下のものを使用すること。また、競技シューズについては、800m以上では、底厚25mm以下を使用すること。

## 7、抗議について（競技規定第146条参照）

競技進行中に起きた競技者の行為、または順位に関する抗議は、その競技者、または代理人より結果が正式発表（アナウンス）されてから30分以内（次のラウンドがある場合は15分以内）に、担当総務員を通して口頭で審判長になされなければならない。審判長の裁定に不服の場合は、上訴申立書と預託金1万円を添えて上訴審判員に上告することができる。この預託金は、抗議が受け入れられなかった場合は没収される。

## 8、スタートについて

- (1) 不正スタートを行った場合、ただちに競技者は失格となる。
- (2) 不適切行為を行った場合、1回目は警告で留めるが、同一の競技者が2回目以降（別種目においても）同様な行為を行った場合それぞれ不正スタートを行ったものとして扱うので、注意すること。

## 9、その他

- (1) 競技者の付き添いは一切認めない。従って競技者以外は、トラックならびフィールド内に立ち入ることはできない。
- (2) 大会期間中、競技者は本部前の通行を禁止する。
- (3) リレーにおいて、ユニフォームは各団体種類のものに統一すること。
- (4) 各所属の共用荷物の保管場所は、必要最小限に留め、個人的に場所を確保すること。雨天走路、更衣室を待機場所としての使用は禁止とする。また、その他、待機場所を制限することがあるので係の指示に従うこと。
- (5) ゴミは各自持ち帰ること。
- (6) 競技場及び周辺施設の器具などを破損した場合はその団体から弁償代を徴収する。
- (7) 開門・閉門時間は以下の通りとする。

	(開門時間)	(閉門時間)
大会前日……………4月7日（金）	14：00	17：00
第1日目……………4月8日（土）	7：30	18：00
第2日目……………4月9日（日）	7：30	18：00

- (8) 集団応援の場所はバックスタンド・サイドスタンドで行い、メインスタンドでは行わないこと。
- (9) 主催者は競技中の発病・負傷に対しては応急処置以外の責任を負わない。ただし、2023年度公益社団法人日本学生陸上競技連合普通会員は、原則としてスポーツ安全保険に加入しているので、この保険が適用される場合がある。